新機能および補足説明について （ソフトウェアVer.1.60）

本機はソフトウェアのバージョンアップにより、下記の新機能に対応しました。

No.	機能	対応画面（ページ）	記載ページ
1	ライブ画で顔検出の検出枠を表示する	ライブ画ページ 画像認識ページ	3ページ
2	SDメモリーカードに録画した動画(H.264データ)を再生する	ライブ画ページ - ログリスト 基本ページ カメラページ	4ページ
3	JPEG録画機能でプレアラーム録画をする	基本ページ	17ページ
4	携帯電話画面で、画像更新を自動で行う	携帯電話画面	18ページ
5	携帯電話画面を中国語で表示する	携帯電話画面	19ページ
6	電源を入れた状態で、SDメモリーカードの取り付け、取り外しが可能	基本ページ	19ページ
7	インターネット公開機能を追加（BB-SC384のみ）	インターネット公開画面	20ページ
8	インターネット公開画面のメニュー位置を変更 （BB-SW175/174W/172/ST165/ST162のみ）	インターネット公開画面	21ページ
9	初期設定でマルチスクリーンのカメラ1に自カメラ(selfcamera)の登録機能を追加／BB-HCMシリーズのマルチスクリーン表示に対応	マルチスクリーンページ	21ページ
10	アラーム入力端子の検出論理（短絡・開放）切り換えを追加	アラームページ	22ページ
11	独自アラーム通知機能に動作検知エリア別送信設定を追加	アラームページ	23ページ
12	顔検出機能を追加（DG-SP102のみ）	画像認識ページ	24ページ
13	接続モードに「自動設定(おまかせ)」を追加し、初期設定を変更	ネットワークページ	24ページ
14	IPv6ネットワークに「デフォルトゲートウェイ」を追加	ネットワークページ	25ページ
15	HTTPの最大セグメントサイズに「制限あり(1280byte)」を追加	ネットワークページ	25ページ
16	電源を入れて20分経過した場合でも、IP簡単設定ソフトウェアでIPアドレスを表示する	ネットワークページ	26ページ
17	みえますねっとPROの簡易センサーお知らせ録画オプションのセンサー検知前録画機能を追加	みえますねっとPRO機能	26ページ
18	スケジュール設定の動作モードの設定項目に全アラーム検知許可を追加	スケジュールページ	26ページ
19	バージョンアップ完了後の設定データ初期化機能の初期値を「初期化を行わない」に変更	メンテナンスページ	28ページ
20	設定データ初期化を実施時に、DNSサーバーアドレスを初期化対象外に変更	メンテナンスページ	28ページ
21	BB-SC384の初期値を変更	―	29ページ

本書では、新機能の設定方法と制約事項などについて説明します。これらの機能については本書の内容を参照してください。また、本機に付属の取扱説明書もあわせてお読みください。

記号について

本書では、機種によって使用が制限される機能には、以下の記号を使って使用できる機種を示しています。
本記号が使用されていない機能については、全機種が対応しています。

SW396 : DG-SW396、DG-SW395、DG-SC386, DG-SC385で使用できる機能です。

SC384 : BB-SC384で使用できる機能です。

SW355 : DG-SW355、DG-SF335で使用できる機能です。

SF334 : DG-SF334で使用できる機能です。

SW316 : DG-SW316、DG-SW316Lで使用できる機能です。

SW314 : DG-SW314で使用できる機能です。

SP305 : DG-SP305で使用できる機能です。

SP304V : DG-SP304Vで使用できる機能です。

SW175 : BB-SW175、BB-ST165で使用できる機能です。

SW174W : BB-SW174Wで使用できる機能です。

SW172 : BB-SW172、BB-ST162で使用できる機能です。

SW155 : DG-SW155、DG-SW155Mで使用できる機能です。

SF135 : DG-SF135で使用できる機能です。

SF132 : DG-SF132で使用できる機能です。

SP102 : DG-SP102で使用できる機能です。

NP502 : DG-NP502、DG-NW502Sで使用できる機能です。

1．ライブ画で顔検出の検出枠を表示する

(取扱説明書　操作・設定編　画像認識の設定[画像認識]－顔検出の設定をする[顔検出]）



[顔検出]
画像に顔検出情報を付加するかどうかを設定します。また、ライブ画への検出枠を表示するかどうかを設定します。
Off：顔検出枠の情報を画像に付加しません。本ページの画像には、検出枠が表示されません。
On（ライブ画表示なし）：顔検出枠の情報を画像に付加すると同時に、本ページの画像にテスト用の検出枠を表示します。ライブ画には顔検出の検出枠を表示しません。
On（ライブ画表示あり）：顔検出枠の情報を画像に付加すると同時に、本ページの画像にテスト用の検出枠を表示します。ライブ画に顔検出の検出枠を表示します。
初期設定：Off

(取扱説明書　操作・設定編　PC から画像を見る－ライブ画ページについて)

顔検出枠
顔検出枠は、設定メニューで「顔検出」を「On（ライブ画表示あり）」に設定すると、ライブ画に顔検出機能で検出した顔検出枠を表示します。

重要
・顔検出機能は、画像内の顔の検出を保証するものではありません。撮像条件によっては、顔を検出しない場合があります。

2．SDメモリーカードに録画した動画(H.264データ)を再生する

（取扱説明書　操作・設定編　ログリストを表示する）

SW396　SC384　SW355　SW316　SP305　SW175　SW172　SW155　NP502

SDメモリーカードの録画圧縮方式：JPEG

・**アラームログ：**アラーム発生日時、アラームの要因を確認できます。
・**手動／スケジュール保存ログ：**手動またはスケジュール設定でSDメモリーカードへ画像を保存したときのログを確認できます。
・**FTP定期送信エラーログ：**FTP定期送信に失敗したときのログを確認できます。

基本ページの［ログ］タブで「ログ保存」が「On」に設定されている場合にのみ、ログリストを表示できます。

お知らせ

・SDメモリーカードの「録画圧縮方式」が「JPEG」のときのログリストの説明は、本機に付属の取扱説明書をお読みください。

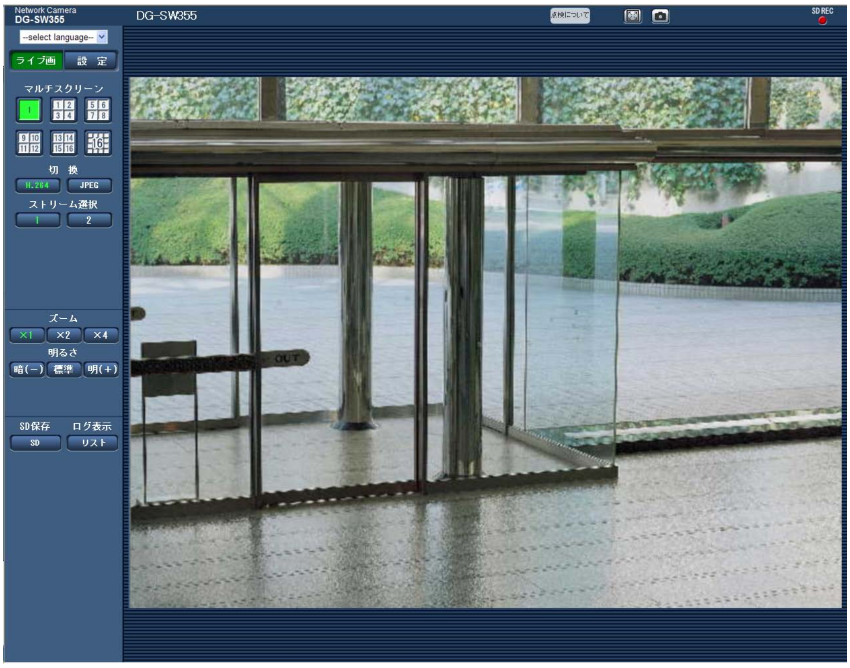
SDメモリーカードの録画圧縮方式：H.264（1）、H.264（2）

・**アラームログ：**アラーム発生日時、録画記録期間、アラームの要因を確認できます。
・**手動／スケジュール保存ログ：**手動またはスケジュール設定でSDメモリーカードへ動画を保存したときのログ、録画記録期間を確認できます。

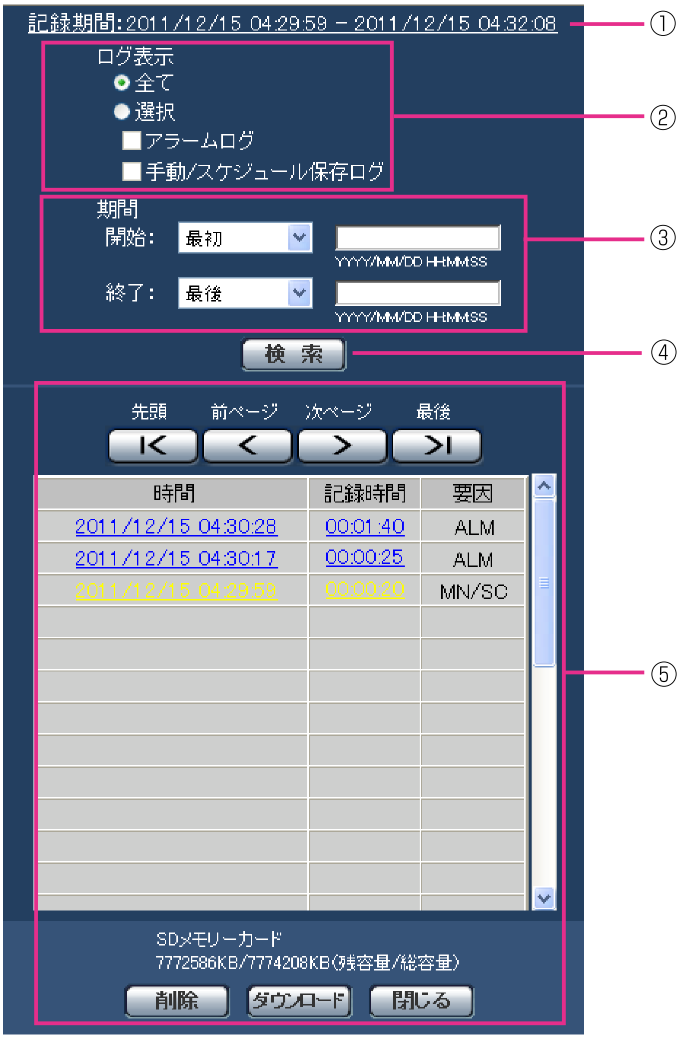
重要

・SDメモリーカードに録画した動画の再生機能を使用する場合は、SDHCメモリーカードをお使いください。SDメモリーカードを使用した場合、被写体および設定によっては、再生時の画像が滑らかに表示されないことがあります。
・動画録画中は、ブラウザー操作、NTPなどによる時刻変更に制限があります。
  - 時刻を進める操作の場合は、録画を継続した状態で時刻が変更されます。
  - 5秒未満の時刻を戻す操作の場合は、時刻が変更されません。
  - 5秒以上の時刻を戻す操作の場合は、時刻が変更されます。ただし、録画をいったん停止し、その後録画を再開します。
・以下の設定を変更すると、録画およびライブ画がいったん停止します。
  - SDメモリーカード
  - 録画圧縮方式
  - 保存モード
  - H.264動画録画設定
  - アスペクト比
  - H.264(1)、H.264(2)設定

1. ライブ画ページを表示します。



2. ［リスト］ボタンをクリックします。
→ログリスト表示画面が別ウインドウで表示されます。



重要

・ログリスト表示画面に複数のユーザーが同時にアクセスすることはできません。

①記録期間

SDメモリーカードに保存された録画の期間を表示します。

②ログ表示

ログリストに表示するログの種類を選択します。

・**全て**：全てのログを表示します。
・**選択**：選択された種類のログのみを表示します。
　– **アラームログ**：アラームが発生した際のログを表示します。
　– **手動/スケジュール保存ログ**：手動保存、スケジュール保存のログを表示します。
・**初期設定**：全て

③期間
ログリストに表示するログの期間を設定します。
・**開始：**ログに表示する期間の始点を設定します。
　– **最初：**SDメモリーカードに保存された最初のログから表示します。
　– **今日：**今日のログを表示します。
　– **昨日：**昨日のログを表示します。
　– **最新7日間：**6日前から今日までのログを表示します。
　– **最新30日間：**29日前から今日までのログを表示します。
　– **日時指定：**日時指定ボックスに入力された日時のログから表示します。
・**終了：**［開始］で「最初」、「日時指定」が設定された場合に、ログに表示する期間の終点を設定します。
　– **最後：**SDメモリーカードに保存された最後のログまで表示します。
　– **日時指定：**日時指定ボックスに入力された日時のログまで表示します。

④［検索］ボタン
［ログ表示］、［期間］で指定された条件でログを検索します。
検索した結果がログリストに表示されます。

⑤ログリスト
ログの検索結果が表示されます。
［時間］、［記録時間］をクリックすると録画データを再生できます。
・**［先頭］ボタン：**先頭のログを表示します。
・**［前ページ］ボタン：**前のページのログリストを表示します。
・**［次ページ］ボタン：**次のページのログリストを表示します。
・**［最後］ボタン：**最後のログを表示します。
・**［時間］：**ログが記録された日時を表示します。

<u>お知らせ</u>
・「時刻表示形式」を「Off」に設定した場合、ログの発生日時が24時間形式で表示されます。
・ログが記録されるタイミングは以下になります。
　– アラームログ：アラーム発生の日時がログとして記録されます。
　– 手動／スケジュール保存ログ：手動またはスケジュール設定でSDメモリーカードへ保存を開始した日時がログとして記録されます。連続して保存する場合は、1時間ごとにログが記録されます。ただし、被写体および設定によっては、ログが記録される間隔は1時間を超える場合があります。
・被写体および設定によっては、ログの日時と実際の録画データの開始時刻が一致しないことがあります。

・**［記録時間］：**SDメモリーカードへデータを保存した時間を表示します。
・**［要因］：**ログが発生した要因を表示します。
　– **ALM：**アラームによるログ
　– **MN/SC：**手動保存、スケジュール保存によるログ
・**［SDメモリーカード］：**SDメモリーカードの残容量と総容量を表示します。
　表示内容は、［SDメモリーカード］タブの「容量表示」と同じです。
・**［削除］ボタン：**表示中のログリストを削除します。ログリストに関連付けされている画像も削除されます。

重要

・SDメモリーカードに保存されている録画データが多い場合、削除完了までに数時間がかかることがあります。（例えば、1GBを削除の場合、約1時間かかることがあります。）その場合はフォーマットしてください。ただし、フォーマットを行うと、すべての画像が削除されます。
・削除中にアラームによる保存、手動保存、スケジュール保存はできません。
・削除が完了するまで本機の電源を切らないでください。
途中で本機の電源が切れた場合は、SDメモリーカードにデータが残ったままになることがあります。この場合、削除操作を行ったログリストの画面で、再度［削除］ボタンをクリックしてください。

・**［ダウンロード］ボタン**：表示されているログリストの総件数分をPCにダウンロードできます。
・**［閉じる］ボタン**：ログリスト表示画面を閉じます。

（取扱説明書　操作・設定編　SDメモリーカードの画像を再生する）

SW396 SC384 SW355 SW316 SP305 SW175 SW172 SW155 NP502

ログリスト表示画面で時間、記録時間をクリックすると、ライブ画ページが再生ページに切り換わります。クリックしたログの画像がSDメモリーカードに保存されている場合、選択したログの先頭の画像が表示されます。

お知らせ

・SDメモリーカードの画像を再生する場合は、ネットワークページ－［ネットワーク］タブの「配信量制御（ビットレート）」を「制限なし」に設定してください。

重要

・画像の再生中やダウンロード中は、画像更新速度が遅くなることがあります。
・SDメモリーカードに保存されている画像が多い場合、再生ページに画像が表示されるまで時間がかかる場合があります。
・SDメモリーカードに保存されている画像の解像度が｢QVGA｣、｢800×600｣および｢1280×960｣の場合でも、再生ページではVGAサイズで表示されます。また、｢アスペクト比｣が｢16:9｣の場合、SDメモリーカードに保存されている画像の解像度が｢320×180｣および｢1280×720｣の場合でも再生ページは｢640×360｣で表示されます。そのため、再生ページでは粗く見える場合があります。

SDメモリーカードの録画圧縮方式：JPEG

SDメモリーカードの｢録画圧縮方式｣が｢JPEG｣のときの説明は、本機に付属の取扱説明書をお読みください。

SDメモリーカードの録画圧縮方式：H.264(1)、H.264(2)



・［一時停止］ボタン：再生中にクリックすると、再生が一時停止します。
一時停止中にクリックすると再生が再開します。
・［再生］ボタン：録画データを再生します。
・［高速再生］ボタン：ボタンをクリックするたびに、再生する速度が切り換わります。
高速再生中に［再生］ボタンをクリックすると、通常の再生速度に戻ります。

お知らせ

・SDメモリーカードの「H.264 動画録画」−「ビットレート」の設定により、高速再生の最大速度が異なります。
・被写体および設定によっては、高速再生時の画像が滑らかに表示されないことがあります。

・**［5秒戻り］ボタン**：ボタンをクリックするたびに、5秒前に戻り録画データを再生します。
・**［5秒送り］ボタン**：ボタンをクリックするたびに、5秒後に進み録画データを再生します。
・**［終了］ボタン**：再生を終了し、ライブ画ページに戻ります。
・**［時間］**：ログが記録された日時を表示します。
・**［記録時間］**：SDメモリーカードへデータを保存した時間を表示します。
・**［要因］**：ログが発生した要因を表示します。
  − **ALM**：アラームによるログ
  − **MN/SC**：手動保存、スケジュール保存によるログ

SDカード

・**［開始］ボタン：**選択中の録画データがPCにダウンロードされます。
PCの保存先ディレクトリーを、あらかじめ設定してください。（→取扱説明書 操作・設定編 ログリストを設定する。）
［開始］ボタンをクリックすると、ダウンロード画面が表示されます。ダウンロード画面で［OK］ボタンをクリックします。

お知らせ

・ダウンロード中に［キャンセル］ボタンをクリックすると、ダウンロードが中止されます。
［キャンセル］ボタンをクリックする前にダウンロードした録画データは、PCに保存されます。
・動画データは、約2 MB単位のファイルに保存されるため、2 MBを超える容量のデータの場合は、複数のファイルがダウンロードされます。
・PCに保存した動画は、QuickTime PlayerやWindows Media Player[*1] などを使用して再生することができます。ただし、これらのソフトウェアの動作について、弊社は一切の保証をいたしません。
・SDメモリーカードの状態や、QuickTime Player、Windows Media Playerの状態によっては、動画を再生できない場合があります。

[*1] 対応OSは、Windows 7 のみです。

（取扱説明書　操作・設定編　本機の基本設定を行う[基本] － SDメモリーカードを設定する[SDメモリーカード]）

SW396　SC384　SW355　SW316　SP305　SW175　SW172　SW155　NP502



［録画圧縮方式］

SDメモリーカードに保存する映像データの種類をJPEG/H.264(1)/H.264(2)から選択します。

・JPEG：静止画を保存します。

・H.264(1)：動画をMP4フォーマットで保存します。音声は保存されません。カメラページの「JPEG/H.264」タブの「H.264(1)」の設定に従いデータを保存します。

・**H.264(2)：**動画をMP4フォーマットで保存します。音声は保存されません。カメラページの「JPEG/H.264」タブの「H.264(2)」の設定に従いデータを保存します。

初期設定：JPEG

ライブ画と同じデータを保存する場合、ライブ画と「録画圧縮方式」を同じ設定にすることをお勧めします。ライブ画と別のデータを保存する場合(画質や解像度を落としてデータ容量を節約するような場合)は、「録画圧縮方式」でライブ画と別の映像データを選択し、動画データ保存用の設定を行ってください。

お知らせ

・「H.264(1)」を選択すると、カメラページの［JPEG/H.264］タブの「H.264(1)」設定が「H.264(1)&動画録画」設定に切り換わります。「H.264(2)」を選択すると、「H.264(2) &動画録画」設定に切り換わります。
・カメラページの［JPEG/H.264］タブの「動画配信形式」を「H.264」から「MPEG-4」に変更すると、録画圧縮方式の設定も連動して「JPEG」に切り換わります。
・弊社のネットワークディスクレコーダーのSDメモリーカード録画機能を使用する場合は、「録画圧縮方式」を「JPEG」に設定してください。
・設定を「JPEG」と「H.264(1)」、「H.264(2)」で切り換えた場合は、SDメモリーカードをフォーマットしてください。
・「JPEG」の場合と「H.264(1)」、「H.264(2)」の場合では、ファイルの保存形式が異なるため、SDメモリーカードの残容量表示が異なります。
・「録画圧縮方式」を「H.264(1)」に設定変更した場合、「H.264動画録画」の「解像度」、「フレームレート」、「ビットレート」、「画質」、「リフレッシュ間隔」の設定は、H.264(1)で設定されていた値が最初に設定されます。「録画圧縮方式」を「H.264(2)」に設定変更した場合、「H.264動画録画」の設定は、H.264(2)に従います。
・「録画圧縮方式」を「H.264(1)」、「H.264(2)」に設定変更した場合、次の機能の設定値が補正されることがあります。
　－「リフレッシュ間隔」が「2s」、「3s」、「4s」、「5s」に設定されていた場合、「1s」に設定されます。
　－「ビットレート」が「3072kbps」、「4096kbps」に設定されていた場合、「2048kbps」に設定されます。
・「録画圧縮方式」を「H.264(1)」、「H.264(2)」に設定変更した場合、「ログ保存」（基本ページの［ログ］タブ）の設定も連動して切り換わります。
・「録画圧縮方式」が「H.264(1)」、「H.264(2)」の場合、アラーム画像の保存は、［アラーム］－［アラーム］タブの「プレアラーム」「ポストアラーム時間」の設定に従って動作します。
・「録画圧縮方式」が「H.264(1)」、「H.264(2)」の場合、保存するファイルのファイル名称は自動で付与されます。
・「録画圧縮方式」を「H.264(1)」、「H.264(2)」に設定すると、接続可能なユーザー数が少なくなることがあります。
・「ソフトウェアVer.1.60」では、SDメモリーカードの容量および設定により記録できるログ、画像の件数が異なります。

［H.264動画録画］

SDメモリーカードの「録画圧縮方式」が「H.264(1)」、「H.264(2)」に設定されている場合のみ設定できます。

「録画圧縮方式」で「H.264(1)」を選択した場合、カメラページの［JPEG/H.264］タブの「H.264(1)」設定と連動して「解像度」、「モード」、「フレームレート*」、「ビットレート」、「画質」、「リフレッシュ間隔」が表示されます。「録画圧縮方式」で「H.264(2)」を選択した場合、カメラページの［JPEG/H.264］タブの「H.264(2)」設定と連動します。

[解像度]
H.264画像の解像度を以下から選択します。

アスペクト比 (SC384) (SW355) (SW316) (SP305) (SW175) (SW172) (SW155)

アスペクト比4：3	QVGA／VGA／800×600*1／1280×960*2
アスペクト比16：9	320×180／640×360／1280×720*2

アスペクト比 (SW396)

アスペクト比4：3(VGA)	QVGA／VGA／1280×960
アスペクト比4：3(800×600)	QVGA／800×600／1280×960
アスペクト比16：9	320×180／640×360／1280×720

撮像モード (NP502)

1.3メガピクセル(VGA)［4:3］	QVGA／VGA／1280×960
1.3メガピクセル(800×600)［4:3］	QVGA／800×600／1280×960
1.3メガピクセル［16:9］	320×180／640×360／1280×720
3メガピクセル［4:3］	QVGA／VGA／1280×960
3メガピクセル［16:9］	320×180／640×360

初期設定：VGA (SW396) (SW355) (SW316) (SP305) (SW155) (NP502)

QVGA (SC384) (SW175) (SW172)

---

*1 (SW172)

*2 (SC384) (SW355) (SW316) (SP305) (SW175) (SW155)

[モード]
録画するH.264を固定ビットレート／フレームレート指定のどちらかに設定します。
・**固定ビットレート：**H.264画像を「ビットレート」で設定したビットレートで録画します。
・**フレームレート指定：**H.264画像を「フレームレート *」で設定したフレームレートで録画します。
初期設定：フレームレート指定

[フレームレート *]
録画するH.264のフレームレートを以下から設定します。
1fps／3fps／5fps *／7.5fps *／10fps *／12fps *／15fps *／20fps *／30fps *
初期設定: 30fps *

お知らせ
・「フレームレート *」は、「モード」で「フレームレート指定」を選択したときのみ設定できます。
・「フレームレート *」は、「ビットレート」に制限されます。「*」付きの値を設定した場合は、設定した値よりもフレームレートが低下することがあります。

[ビットレート]

録画するH.264のビットレートを以下から選択します。

64kbps／128kbps／256kbps／384kbps／512kbps／768kbps／1024kbps／1536kbps／2048kbps

初期設定： 1536kbps (SW396) (SW355) (SW316) (SP305) (SW155) (NP502)／1024kbps (SC384) (SW175) (SW172)

重要

- 「ソフトウェアVer.1.60」では、録画対象のH.264のビットレートの最大値が「2048kbps」に制限されます。

[画質]

録画するH.264の画質を以下から選択します。

動き優先／標準／画質優先

初期設定： 標準

お知らせ

- 「モード」で「固定ビットレート」を選択しているときのみ設定できます。

[リフレッシュ間隔]

録画するH.264をリフレッシュする間隔（Iフレーム間隔：0.2～1秒）を以下から選択します。

0.2s／0.25s／0.33s／0.5s／1s

初期設定： 1s

（取扱説明書　操作・設定編　画像・音声に関する設定を行う[カメラ]－H.264画像に関する設定を行う[JPEG/H.264]）



［H.264(1)］、［H.264(2)］
「基本ページ」の「SDメモリーカード」タブで、「録画圧縮方式」が「H.264(1)」、「H.264(2)」に設定されると、表示が「H.264(1)&動画録画」、「H.264(2)&動画録画」になります。

[解像度]
H.264画像の解像度を以下から選択します。

アスペクト比 SC384 SW355 SF334 SW316 SW314 SP305 SP304V SW175 SW174W SW172 SW155 SF135 SF132 SP102

アスペクト比4：3	QVGA／VGA／800×600[*1]／1280×960[*2 *3]
アスペクト比16：9	320×180／640×360／1280×720[*2 *3]

アスペクト比 SW396

アスペクト比4：3(VGA)	QVGA／VGA／1280×960[*3]
アスペクト比4：3(800×600)	QVGA／800×600／1280×960[*3]
アスペクト比16：9	320×180／640×360／1280×720[*3]

撮像モード NP502

1.3メガピクセル(VGA)［4:3］	QVGA／VGA／1280×960[*3]
1.3メガピクセル(800×600)［4:3］	QVGA／800×600／1280×960[*3]
1.3メガピクセル［16:9］	320×180／640×360／1280×720[*3]
3メガピクセル［4:3］	QVGA／VGA／1280×960[*3]
3メガピクセル［16:9］	320×180／640×360／1920×1080[*3 *4]

初期設定：
- SW396 SW355 SF334 SW316 SW314 SP305 SP304V SW155 SF135 NP502
  H.264(1)：1280×960
  H.264(2)：VGA
- SC384 SW175 SW174W SW172
  H.264(1)：VGA
  H.264(2)：QVGA
- SF132 SP102
  H.264(1)：VGA
  H.264(2)：VGA

[1クライアントあたりのビットレート *]
1クライアントに対するH.264ビットレートを以下から選択します。
「配信モード」で「ベストエフォート配信」を選択している場合は、最大、最小を設定します。
64kbps／128kbps *／256kbps *／384kbps *／512kbps *／768kbps *／1024kbps *／1536kbps *／2048kbps *／3072kbps *／4096kbps *／8192kbps *[*2]／制限なし *

初期設定：

– SW396 SW355 SF334 SW316 SW314 SP305 SP304V SW155 SF135 NP502
  H.264(1)：4096kbps *
  H.264(2)：1536kbps *

– SC384 SW175 SW174W SW172
  H.264(1)：1024kbps *
  H.264(2)：1024kbps *

– SF132 SP102
  H.264(1)：1536kbps *
  H.264(2)：1536kbps *

※H.264ビットレートは、「解像度」によって設定可能な範囲が異なります。
・QVGA、VGA、320×180、640×360の場合：64kbps～4096kbps *
・800×600[*1]の場合：128kbps *～4096kbps *
・1280×960[*2]、1280×720[*2]の場合：256kbps *～8192kbps *
・1920×1080[*2]の場合：512kbps *～8192kbps *
※制限なし *は「配信モード」で「フレームレート指定」を設定したときのみ

<u>**お知らせ**</u>

・「8192kbps *」[*2]または「制限なし *」に設定すると、H.264画像にアクセスできるユーザー数が1人に制限されます。
・H.264ビットレートは、ネットワークページの［ネットワーク］タブにある「配信量制御（ビットレート）」に制限されます。「*」付きの値を設定した場合は、設定した値よりもビットレートが低下することがあります。
・「H.264(1)」と「H.264(2)」の両方を「制限なし *」に設定することはできません。
・<u>SDメモリーカードの「録画圧縮方式」が「H.264(1)」、「H.264(2)」の場合、録画対象の「1クライアントあたりのビットレート*」が「2048bps*」までに制限されます。</u>

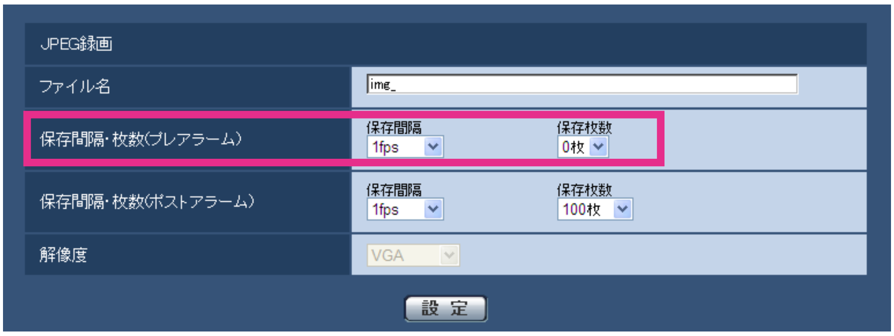
---

*1 SW172
*2 SW396 SC384 SW355 SW316 SW314 SP305 SP304V SW175 SW174W SW155 SF135 NP502
*3 H.264(1)とH.264(2)で同時に設定することはできません。
*4 SDメモリーカードの「録画圧縮方式」で選択されている場合は、設定することはできません。

3．JPEG録画機能でプレアラーム録画をする

（取扱説明書　操作・設定編　本機の基本設定を行う[基本]－SDメモリーカードを設定する[SDメモリーカード]）

SW396　SC384　SW355　SW316　SP305　SW175　SW172　SW155　NP502



[JPEG録画]－[保存間隔・枚数(プレアラーム)　保存間隔]

「保存モード」を「アラーム発生時」または「手動保存」に設定している場合に、SDメモリーカードへ画像を保存するときのプレアラーム画像の間隔を以下から選択します。

0.1fps／0.2fps／0.33fps／0.5fps／1fps

初期設定：1fps

[JPEG録画]－[保存間隔・枚数(プレアラーム)　保存枚数]

アラームが発生したときに、SDメモリーカードへ保存するプレアラーム画像の枚数を以下から選択します。

0 枚／1 枚／2 枚／3 枚／4 枚／5 枚

初期設定：0 枚

お知らせ

・「録画圧縮方式」が「H.264(1)」、「H.264(2)」の場合、「プレアラーム」、「ポストアラーム時間」は、［アラーム］タブの「H.264動画録画」で設定されます。

・「保存枚数」は「保存モード」が「アラーム発生時」に設定されている場合のみ設定できます。

4. 携帯電話画面で、画像更新を自動で行う

（取扱説明書　操作・設定編　携帯電話・携帯端末から画像を見る－携帯電話から画像を見る）





(5)［手動更新］［自動更新］ボタン

ダイヤルキーの「5」を押すと、カメラ画像が更新されます。
「自動更新」を押すと、カメラの画像が5秒ごとに自動的に更新されます。
再度、ダイヤルキーの「5」、「手動更新」を押すと、カメラ画像の更新は手動更新に戻ります。

重要

- カメラ画像を自動更新設定にすると、定期的に通信が発生します。お使いの携帯電話の契約プランをご確認の上、ご利用ください。
- お使いの携帯電話によっては、「自動更新」を使用できない場合があります。

5．携帯電話画面を中国語で表示する

基本ページの言語を中国語に設定した場合、携帯電話画面を中国語で表示します。

6．電源を入れた状態で、SDメモリーカードの取り付け、取り外しが可能

（取扱説明書　操作・設定編　本機の基本設定を行う[基本]－SDメモリーカードを設定する[SDメモリーカード]）

SW396　SC384　SW355　SW316　SP305　SW175　SW172　SW155　NP502

電源が入った状態でのSDメモリーカードの取り外し、取り付けに対応しました。



重要

・本機から、SDメモリーカードを取り外すときは、必ず「SDメモリーカード」を「使用しない」に設定してから、SDメモリーカードを取り外してください。「SDメモリーカード」を「使用する」の場合にSDメモリーカードを取り外すとデータが壊れるおそれがあります。

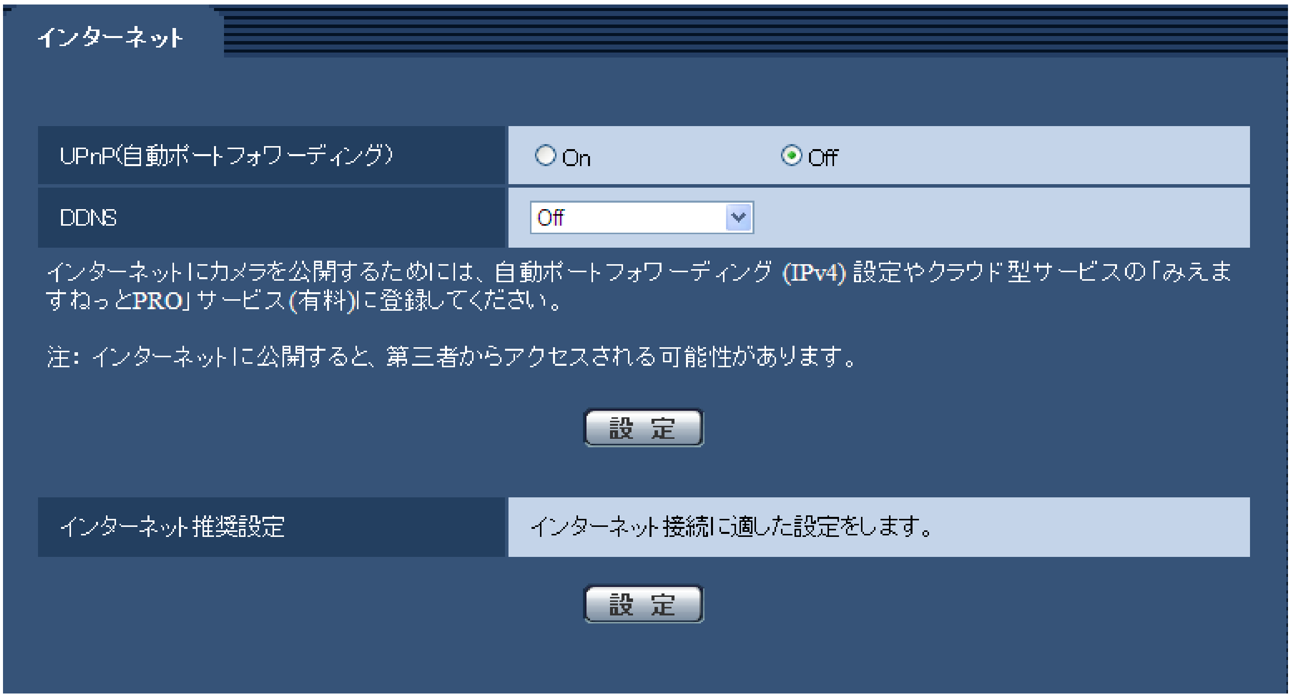
・「SDメモリーカード」を「使用する」の場合にSDメモリーカードを取り付けると、「保存モード」の設定に従い、データの保存を行います。

7．インターネット公開機能を追加

（取扱説明書　操作・設定編　設定）

SC384

簡単にインターネット公開設定ができるように機能を追加しました。
［インターネット］ページをクリックします。
ここでは、ポートフォワーディングおよびみえますねっとPROの設定を行います。



［UPnP (自動ポートフォワーディング)］
ルーターのUPnP (ポートフォワーディング)機能を使用するかどうかをOn／Offで設定します。
自動ポートフォワーディング機能を使用するには、使用するルーターがUPnP対応で、UPnP機能が有効になっている必要があります。
初期設定：Off

お知らせ

- 自動ポートフォワーディングによりポート番号が変更されることがあります。変更された場合は、PCやレコーダーなどに登録されているカメラのポート番号を変更する必要があります。
- UPnPの機能は、カメラをIPv4ネットワークに接続する場合に使用できます。IPv6には対応していません。
- 自動ポートフォワーディングが正しく設定されたか確認するには、メンテナンスページの［ステータス］タブをクリックし、［UPnP］のステータスが［有効］になっていることを確認します。[有効]が表示されていない場合は、本機に付属の取扱説明書の故障かな!?の「インターネットからカメラにアクセスできない」をお読みください。

［DDNS］
みえますねっとPROサービス（有料）を使用するかどうかを「みえますねっとPRO」／「Off」で設定します。
設定完了画面で、「みえますねっとPROサービス登録画面へ」をクリックすると、「みえますねっとPRO」サービスの登録画面が新しいウインドウで開きます。以後、画面に従って登録を進めてください。
詳細は、本機に付属CD-ROM内の取扱説明書「「みえますねっとPRO」サービス」、または、「みえますねっとPRO」のウェブサイト（http://panasonic.biz/miemasu/pro/）を参照してください。
初期設定：Off

[インターネット推奨設定]
カメラをインターネットに公開するために、推奨する設定を行います。
［設定］ボタンをクリックすると、下記の設定項目の設定が変更されることが、ダイアログボックスに表示されます。確認したあとに［OK］ボタンをクリックしてください。

設定ページ	設定項目	インターネット推奨設定
カメラページー［JPEG/H.264］タブ	H.264(1)・H.264(2)－インターネットモード(over HTTP)	On
	H.264(1)・H.264(2)－配信モード	ベストエフォート配信
ネットワークページー［ネットワーク］タブ	IPv6/v4共通－RTPパケット最大送信サイズ	制限あり(1280byte)
	IPv6/v4共通－HTTPの最大セグメントサイズ	制限あり(1280byte)

8．インターネット公開画面のメニュー位置を変更

（取扱説明書　操作・設定編　本機の基本設定を行う[基本]－インターネット公開を設定する[インターネット公開]）

SW175 SW174W SW172

インターネット公開画面のメニュー位置を**［基本］**ページの**［インターネット公開］**タブメニューから、**［インターネット］**ページの**［インターネット］**タブメニューに変更しました。

9．初期設定でマルチスクリーンのカメラ1に自カメラ(selfcamera)の登録機能を追加／BB-HCMシリーズのマルチスクリーン表示に対応

（取扱説明書　操作・設定編　マルチスクリーンを設定する[マルチスクリーン]）

SW396 SC384 SW355 SF334 SW316 SW314 SP305 SP304V SW155 SF135 SF132

SP102 NP502 ※その他の機種は対応済み

[IPアドレス]
マルチスクリーンで表示するカメラのIPアドレスまたはホスト名を入力します。4台を1グループとして、最大4グループ（16台）まで登録することができます。
表示したいカメラのHTTPポート番号を変更している場合は、以下のように入力してください。
入力例：
– IPv4アドレスの入力例：http://192.168.0.10:8080
– IPv6アドレスの入力例：http://[2001:db8:0:0:0:0:0:1]:8080
HTTPSで接続する場合は、以下のように入力します。
入力例：https://192.168.0.10/
入力可能文字数：1～128文字

初期設定：（カメラ１）selfcamera、（カメラ２～16）登録なし

重要
・HTTPSで接続する場合は、表示するカメラのセキュリティ証明書をインストールしてください。
・複数台のカメラ画像を見るのに適したネットワークカメラ専用録画ビューアソフト「ビューア専用無料版」については、以下のパナソニックのサポートウェブサイトを参照ください。
http://panasonic.biz/security/support/info.html
・IPアドレスまたはホスト名に"selfcamera"と表示されているカメラは、本機が設定されています。

お知らせ
・ホスト名を設定する場合は、マルチスクリーンを表示するPCのDNS設定が必要です。PCのDNS設定についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。
・BB-HCMシリーズのカメラをマルチスクリーンに登録し、画像を表示することが可能になりました。

10. アラーム入力端子の検出論理（短絡・開放）切り換えを追加

（取扱説明書　操作・設定編　アラーム設定を行う[アラーム]－アラーム動作に関する設定を行う[アラーム]）

SW396 SC384 SW355 SW316 SP305 NP502 ※その他の機種は対応済み



<アラーム>

・［端子］、［端子1］

端子1の動作設定を行います。

Off：使用しません。

アラーム入力：端子アラーム入力を受け付けます。

　－短絡：端子状態が「クローズ」に変化するとアラーム検出を行います。

　－開放：端子状態が「オープン」に変化するとアラーム検出を行います。

白黒切換入力 *1：白黒切換入力を受け付けます。（入力が短絡（クローズ）のとき、白黒に切り換わります。）

初期設定：Off

・**［端子2］** SW396 SC384 SW355 SW316 NP502

端子2の動作設定を行います。

Off：使用しません。

アラーム入力 SW396 SC384 NP502：端子アラーム入力を受け付けます。

　－短絡：端子状態が「クローズ」に変化するとアラーム検出を行います。

　－開放：端子状態が「オープン」に変化するとアラーム検出を行います。

アラーム出力：「アラーム出力端子」で設定した内容に従ってアラーム出力を行います。

初期設定：Off

・**［端子3］** SW396 SC384 SW355 SW316 NP502

端子3の動作設定を行います。

Off：使用しません。

アラーム入力 SW396 SC384 NP502：端子アラーム入力を受け付けます。

　－短絡：端子状態が「クローズ」に変化するとアラーム検出を行います。

　－開放：端子状態が「オープン」に変化するとアラーム検出を行います。

AUX出力：AUX出力を行います。ライブ画ページに［AUX］ボタンを表示します。

露光期間出力 NP502：CCDの露光タイミングパルスの出力を行います（CCDが露光中の期間だけClose出力されます）。

初期設定：Off

お知らせ

- AUXとは、操作者がライブ画ページから任意に操作（Open／Close）できるカメラ端子のことです。例えば、カメラが設置されている場所の照明などを操作したい場合に、照明制御機器と接続することで遠隔地から操作することが可能です。
- 各端子の入力／出力定格については、取扱説明書 基本編をお読みください。

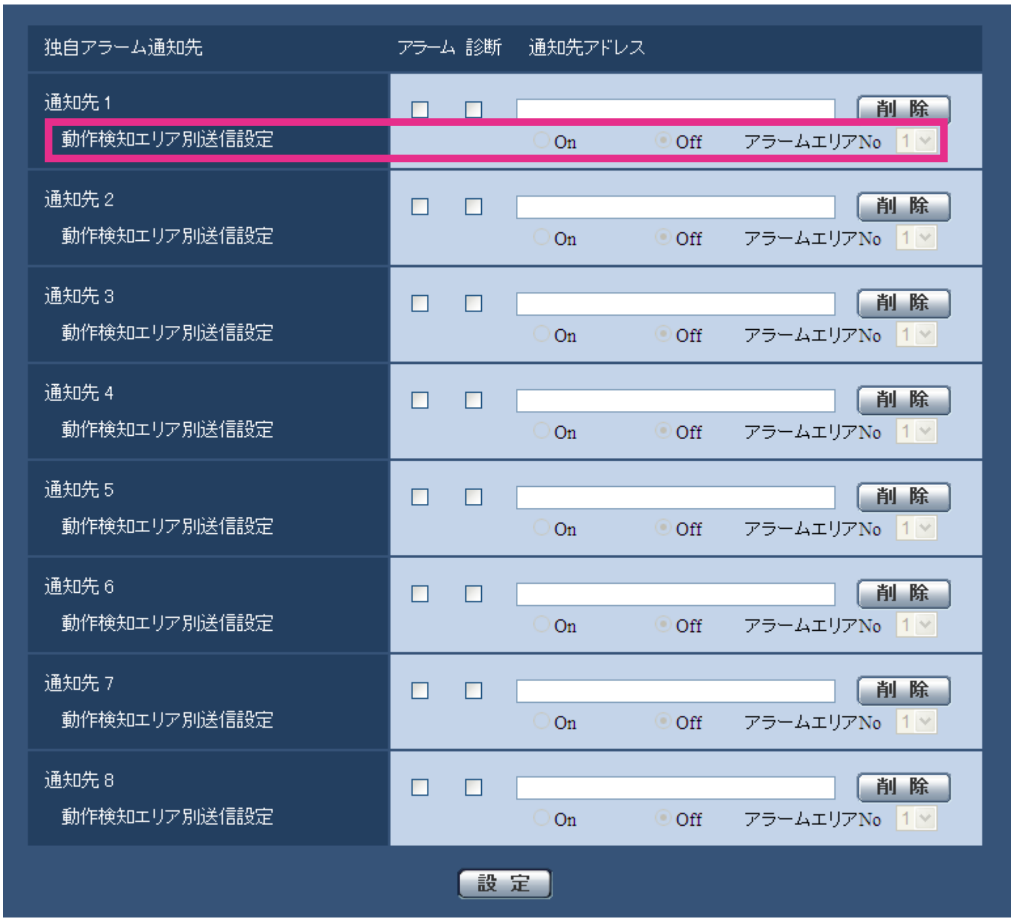
---

*1 DG-SW396、DG-SW395、DG-SC386、DG-SC385、DG-SW355、DG-SW316、DG-SW316L、DG-NP502、DG-NW502S

11. 独自アラーム通知機能に動作検知エリア別送信設定を追加

（取扱説明書　操作・設定編　アラーム設定を行う[アラーム]－アラーム動作に関する設定を行う[アラーム]）

SW355 SF334 SW316 SW314 SP305 SP304V SW155 SF135 SF132 SP102 NP502



[動作検知エリア別送信設定]

動作検知エリア別送信設定を行うかどうかを設定します。
「動作検知エリア別送信設定」を「On」に設定した場合、動作検知で検出したエリア番号が「アラームエリアNo」と合致するときのみ、独自アラーム通知を実施します。動作検知のエリア番号ごとに独自アラーム通知の通知先を設定することができます。

動作検知で検出したエリアに応じて、コンビネーションカメラのアラーム連動動作でプリセットポジションの移動を行うなど、カメラを連携させた使い方ができます。

１２．顔検出機能を追加（DG-SP102のみ）

（取扱説明書　操作・設定編　画像認識の設定[画像認識]）

SP102 ※その他の機種は対応済み

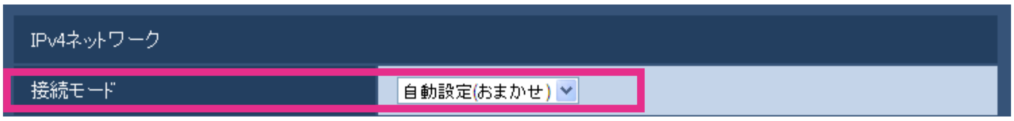
顔検出機能に対応しました。
顔検出機能の説明は、本機に付属の取扱説明書をお読みください。

１３．接続モードに「自動設定(おまかせ)」を追加し、初期設定を変更

（取扱説明書　操作・設定編　ネットワークの設定[ネットワーク]－ネットワークを設定する[ネットワーク]）

SW396 SC384 SW355 SF334 SW316 SW314 SP305 SP304V SW155 SF135 SF132 SP102 NP502

※その他の機種は対応済み



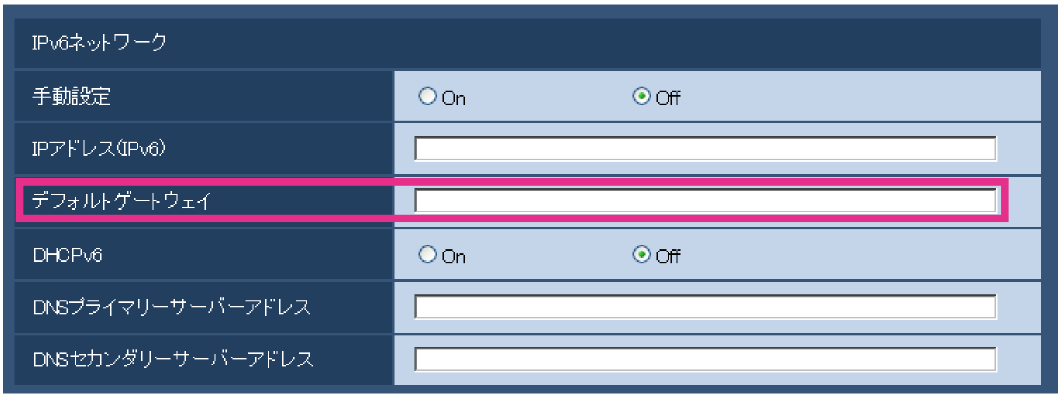
［接続モード］
IPアドレスの設定方法を選択します。
固定IP：IPアドレスを「IPアドレス（IPv4）」に入力して設定します。
DHCP：DHCP機能を使用してIPアドレスを設定します。
自動設定（AutoIP）：DHCP機能を使用してIPアドレスを設定します。DHCPサーバーが見つからない場合は、自動でIPアドレスを設定します。
自動設定（おまかせ）：DHCP機能を使用してIPアドレスなどのネットワークアドレスを取得し、空いているIPアドレスを検索して決定します。DHCPサーバーが見つからない場合は、IPアドレスを192.168.0.10に設定します。また、一度決定したIPアドレスは固定IPと同じように使用します。
初期設定：自動設定（おまかせ）

お知らせ

- 自動設定（AutoIP）で、DHCPサーバーからIPアドレスを取得できない場合は、169.254.1.0～169.254.254.255の間で同一ネットワーク内で使用されていないIPアドレスを検索してIPアドレスを設定します。

１４．IPv6ネットワークに「デフォルトゲートウェイ」を追加

（取扱説明書　操作・設定編　ネットワークの設定[ネットワーク]－ネットワークを設定する[ネットワーク]）



IPv6ネットワーク
[デフォルトゲートウェイ]
IPv6ネットワークの「手動設定」が「On」のとき、本機のIPv6ネットワークのデフォルトゲートウェイを入力します。
初期設定：空欄

１５．HTTPの最大セグメントサイズに「制限あり(1280byte)」を追加

（取扱説明書　操作・設定編　ネットワークの設定[ネットワーク]－ネットワークを設定する[ネットワーク]）

SW396 SC384 SW355 SF334 SW316 SW314 SP305 SP304V SW155 SF135 SF132 SP102 NP502
※その他の機種は対応済み



[HTTPの最大セグメントサイズ]
HTTPを使用してカメラの画像を見る場合に、カメラから送信する最大セグメントサイズ（MSS）を制限するかどうかを設定します。通常は、初期設定のまま使用することをお勧めします。
使用する通信回線の最大セグメントサイズ（MSS）が制限されている場合は、「制限あり（1024byte）」／「制限あり（1280byte）」を選択してください。通信回線の最大セグメントサイズ（MSS）については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
初期設定：制限なし（1460byte） SW396 SW355 SF334 SW316 SW314 SP305 SP304V SW155 SF135 SF132 SP102 NP502 ／制限あり（1280byte） SC384 SW175 SW174W SW172

16. 電源を入れて20分経過した場合でも、IP簡単設定ソフトウェアにIPアドレスを表示する

(取扱説明書　操作･設定編　ネットワークの設定[ネットワーク]－ネットワークを設定する[ネットワーク])

SW396 SC384 SW355 SF334 SW316 SW314 SP305 SP304V SW155 SF135 SF132 SP102 NP502

※その他の機種は対応済み



[IP簡単設定有効期間]

IP簡単設定ソフトウェアからネットワーク設定の操作を有効にする時間を、本機が起動してから20分間／無制限のどちらかに設定します。

20分間：IP簡単設定ソフトウェアでのカメラ設定操作を、本機起動後20分間のみ有効にします。

無制限：IP簡単設定ソフトウェアでのカメラ設定操作を常時有効にします。

初期設定：20分間

お知らせ

・IP簡単設定ソフトウェアでのカメラ表示は常時有効で、カメラ画面を開くことができます。

17. みえますねっとPROの簡易センサーお知らせ録画オプションのセンサー検知前録画機能を追加

みえますねっとPROの機能を拡張し、簡易センサーお知らせ録画オプション（JPEG録画機能）でセンサー検知前録画（プレアラーム録画）に対応しました。

詳細は「みえますねっとPRO」サービスのウェブサイト（http://panasonic.biz/miemasu/pro/）を参照してください。

18. スケジュール設定の動作モードの設定項目に全アラーム検知許可を追加

（取扱説明書　操作・設定編　スケジュールの設定を行う[スケジュール]）

スケジュールページでは、アラーム入力許可*1、動作検知許可、画像公開許可、SD録画*2、ポジションリフレッシュ*3、強制白黒切換*4、全アラーム検知許可（みえますねっとPRO使用時のみ）のスケジュールの設定を行います。スケジュールページは、［スケジュール］タブのみで構成されています。

スケジュールは、最大5個まで設定することができます。



［動作モード］
スケジュールの動作を選択します。
Off：スケジュール動作を行いません。
アラーム入力許可[*1]：スケジュール設定されている間、端子のアラーム入力を許可します。
動作検知許可：スケジュール設定されている間、動作検知を許可します。
画像公開許可：スケジュール設定されている間以外は、［ユーザー認証］タブで設定したアクセスレベル2、3のユーザーからの画像閲覧を禁止します。
SD録画[*2]：スケジュール設定された時間になると、SD録画を行います。なお、H.264のときのみ有効です。
ポジションリフレッシュ[*3]：設定された時間になると、ポジションリフレッシュを行います。
１～64[*4]、**256**[*5]：設定された時間になると、あらかじめ登録されているプリセットポジションから選択したポジションに移動します。

強制白黒切換[*6]**：**スケジュール設定されている間、「白黒切換」が「On」で動作します。「IR LED Light」が「Auto(High)」、「Auto(Mid)」、「Auto(Low)」の場合、連動してIR LED Lightが点灯します。
全アラーム検知許可：スケジュール設定されている間、すべてのアラーム入力を許可し、みえますねっとPROサーバーへ通知します。なお、［DDNS］で「みえますねっとPRO」を設定している場合のみ、選択できます。

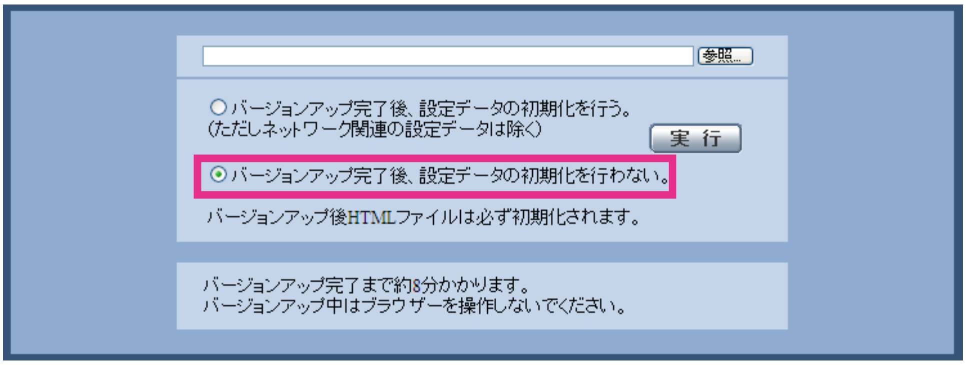
お知らせ

- 「画像公開許可」で使用する場合は、［ユーザー認証］タブの「ユーザー認証」を「On」に、［ホスト認証］タブの「ホスト認証」を「Off」に設定してください。
- 「SD録画」で使用する場合は、［SDメモリーカード］タブの［録画圧縮方式］を「H.264(1)」あるいは「H.264(2)」にし、［保存モード］を「スケジュール保存」に設定してください。[*3]
- 「強制白黒切換」で使用する場合、［アラーム］タブの［端子1］を「白黒切換入力」以外に設定してください。[*6]

[*1] SW396 SC384 SW355 SW316 SP305 SW175 SW172 SW155 SF135 SF132 NP502
[*2] SW396 SC384 SW355 SW316 SP305 SW175 SW172 SW155 NP502
[*3] SW396 SC384
[*4] DG-SW395、DG-SC385、BB-SC384、BB-SW175、BB-ST165、BB-SW174W、BB-SW172、BB-ST162
[*5] DG-SW396、DG-SC386
[*6] DG-SW316L

19. バージョンアップ完了後の設定データ初期化機能の初期値を「初期化を行わない」に変更

（取扱説明書　操作・設定編　本機のメンテナンスを行う[メンテナンス]－ソフトウェアのバージョンアップを行う[バージョンアップ]）



次の設定項目の初期設定を変更します。

設定項目	従来	Ver.1.60以降
バージョンアップ後の設定データ初期化	バージョンアップ完了後、設定データの初期化を行う。	バージョンアップ完了後、設定データの初期化を行わない。

20. 設定データ初期化を実施時に、DNSサーバーアドレスを初期化対象外に変更

（取扱説明書　操作・設定編　本機のメンテナンスを行う[メンテナンス]－ソフトウェアのバージョンアップを行う[バージョンアップ]）

「バージョンアップ完了後、設定データの初期化を行う」を選択した場合でも、IPv4 DNSの［プライマリーサーバーアドレス］、［セカンダリーサーバーアドレス］とIPv6の［DNSプライマリーサーバーアドレス］、［DNSセカンダリーサーバーアドレス］を初期化しないように変更しました。

（取扱説明書　操作・設定編　本機のメンテナンスを行う[メンテナンス]ー本機を初期化・再起動する[初期化]）

［設定データ初期化（ネットワーク設定を除く）］または、［設定データ／HTML初期化］を実行した場合でも、IPv4 DNSの［プライマリーサーバーアドレス］、［セカンダリーサーバーアドレス］とIPv6の［DNSプライマリーサーバーアドレス］、［DNSセカンダリーサーバーアドレス］を初期化しないように変更しました。

21．BB-SC384の初期値を変更

下記の設定項目の初期値を変更しました。

設定ページ	設定項目	従来	Ver.1.60以降
基本ページー［基本］タブ	状態通知間隔	リアルタイム	定期(30s)
基本ページー［SDメモリーカード］タブ	H.264動画録画ー解像度	VGA	QVGA
	H.264動画録画ービットレート	1536kbps	1024kbps
カメラページー［JPEG/H.264］タブ カメラページー［JPEG/MPEG-4］タブ	JPEGー画像更新速度*	5fps	30fps*
	JPEGー解像度	1280x960	VGA
	・H.264(1)・H.264(2)ーインターネットモード(over HTTP) ・MPEG-4(1)・MPEG-4(2)ーインターネットモード(over HTTP)	Off	On
	・H.264(1)・H.264(2)ー解像度 ・MPEG-4(1)・MPEG-4(2)ー解像度	・H.264(1)：1280x960 H.264(2)：VGA ・MPEG-4(1)：VGA MPEG-4(2)：VGA	・H.264(1)：VGA H.264(2)：QVGA ・MPEG-4(1)：VGA MPEG-4(2)：QVGA
	・H.264(1)・H.264(2)ー配信モード ・MPEG-4(1)・MPEG-4(2)ー配信モード	フレームレート指定	ベストエフォート配信
	・H.264(1)・H.264(2)ー1クライアントあたりのビットレート* ・MPEG-4(1)・MPEG-4(2)ー1クライアントあたりのビットレート*	・H.264(1)：4096kbps* H.264(2)：1536kbps ・MPEG-4(1)：2048kbps* MPEG-4(2)：2048kbps*	・H.264(1)：1024kbps*～128kbps* H.264(2)：1024kbps～128kbps* ・MPEG-4(1)：1024kbps*～128kbps* MPEG-4(2)：1024kbps*～128kbps*
カメラページー［音声］タブ	音声モード	Off	双方向（半二重）
	受話間隔(PCで聞く)	40ms	160ms
ユーザー管理ページー［ユーザー認証］タブ	ユーザー認証	Off	On
ネットワークページー［ネットワーク］タブ	IPv4ネットワークーDNS	Manual	Auto
	IPv6/v4共通ーRTPパケット最大送信サイズ	制限なし(1500byte)	制限あり(1280byte)
	IPv6/v4共通ーHTTPの最大セグメントサイズ	制限なし(1460byte)	制限あり(1280byte)